

74新破天荒



令和四年度より
創刊
第2号

二学期の始まりです

あつという間に夏休みが過ぎ、今日を迎えています。皆さんはどんな夏休みだったでしょうか？
来年の今日は、進学のための推薦入試説明会が行われます。続いて共通テスト説明会と、一気に進路実現の機会について、大切な説明会が行われることを承知しておいてください。
加えて、休日も模擬試験が続きます。気を付けておいてもらいたいのは、

「見直し・振り返り」

を必ずすることです。
問題を解くことで「やった気」にはなれますが、大概の場合「上手くいく」よりも「やったのに何で？」というのが三年生二学期の時期です。
客観的に全体を見ることが出来る「いまの間」に振り返りの大切さをしっかり自分の中に植え付けて、来年の今日を迎えてほしいと思います。

現役の強みは

「伸び率」

です。ただし、

「自分のやるべき

ことを信じる」

「目の前の努力を

積み重ねること」

をする人に与えられる権利ではありませんが。

さて、来年の今日の皆さんの姿はどんなものになるでしょうか。

七月模試分析

八月早々に、七月模試の結果が皆さんの目で見られるようになっていきます。近日中には、結果の用紙も手渡せます。すでに結果を見た人は次に向かってもう動き出しているかもしれません。

志望校の記入については、ほぼよく考えて書いてくれたと思います。そのうえでどうですか？国公立大学にしろ、私立大学にしろ、自分達が思うような成績になりませんか。

いま

難しいことをする必要はないですが、基礎の積み重ねを当たり前にすることは **must** 事項です。実力テストはその定着を知るためのものです。しっかりと振り返りに取り組んでおきましょう。

さて七月の成績概要です。

七十四回生の特徴

国数英三教科については、上位層、最下位層ともに不在の標準偏差が非常に小さい集団です。各教科においても同じで、教科毎ではそんなに変化はないのですが、三教科総合で見ると成績が低下しています。つまり、教科毎の好き嫌いが強まっている、ほどほどのことはするが、自分の目指す進路に向けての準備という点では、甘さが膨らんでいます。

志望校は、自分の可能性を見るためによく調べていますが、そこでの自分の立ち位置を測る学力は、準備不足の感はありません。

特に、数学の全国的な立ち位置は昨年七月模試に戻ってしまいました。

練習試合に一喜一憂してはいけないうし、「伸び放し」の結果も逆に不安がありますが、皆さんの実力を引き出す努力はしなないといけないと、改めて感じています。私達も基礎の徹底を中心に、再度取り組んでいきたいと思っています。

なお、次回十一月からは国数英三教科に加えて、地歴・理科の受験となります。

受験科目が増えることは、一見負担になるように感じますが、科目選択が増加する分、その中に得意科目が入ってくることも考えられます。得意科目で自分の能力を生かし、苦手科目で自分の能力の足を引っ張らないように、まずは基礎力は身につけて、折角調べた進路可能性の道を生かせるようにしていきましょう。

「今の力の出し惜しみ」

は、

「将来の後悔」

となります。

少しだけ、昭和の先人の経験則を聞いてもらえると嬉しいですね。

素直な気持ちになれないのならば、ベネッセの方の言葉を思い出しましょう。

50パーセント以上の人数の、夢の無いE判定のメンバーになるのではなく、自分の進路を「どうにか」切り開く、D判定以上の情報の中で自分を鍛えていきましょう。

散歩道74

クラスコード 51uczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

→ Now 57

七十四回生 生徒会執行部

一学期終業式に、旧生徒会解任式および新生徒会
認証式がありました。まずは、本人の決意とともに
メンバーの紹介を行います。

生徒会長 柴原 綺良

生徒の代表として、自分の発言や行動に責任を
持ち、南高生が、規律のある学校生活を送ること
ができるよう、生徒会としての活動に幅を拡げ、
すべての人に認められるよう、精一杯頑張ります。

生徒会副会長 佐田 埜衣

生徒の前に立つ立場であることを自覚し、言動
に気をつけるとともに、生徒会執行部では様々な
側面からものごとを捉えることを意識しながら、
会長をサポートしてより良い高校生活を充実させ
るよう努めます。よろしくお願ひします。

生徒会会計 前山 巧

生徒会役員として、南高の規律や、行事などの
伝統を受け継ぎつつ、皆さんが過ごしやすくて、
かつ、楽しい、勉強に打ち込める学校になるよう
していきます。どうぞよろしくお願ひします。

生徒会副会計 竹中 愛結

私は計算ミスをする事が多いです。だから
こそ、この仕事に携わって丁寧に仕事をする中で
自分を成長させることができるのではないかと考
えています。よろしくお願ひします。

図書部長 花井 終仁

コロナ禍での規制が少しずつ緩和されたことで
できることが増え、それに応じて分らないこと
も増えていきますが、仲間と協力し合いながら頑
張っていきます。よろしくお願ひします。

図書副部長 玉谷 修一

私は生徒会に所属して自分の視野を広げていき
たいです。例えば、学校行事の運営側で動くこと
で、今までに無かった視点が得られると思います。
一年間、精一杯頑張っていくのでよろしくお願ひ
します。

文化部長 大力 優愛

私は、主に文化祭に関わるので、皆さんの文化
祭が忘れられない最高の思い出となるように、全
力を尽くしたいと思います。ご協力よろしくお願
ひします。

文化副部長 今津 愛実

生徒会役員として、南高の活動に貢献できる
よう、精一杯務めていきます。特に、文化祭は
伝統を受け継ぎながら、新しいものになりたいと
思っています。よろしくお願ひします。

体育部長 山本 采奈

コロナ前の行事が行われる中で自分にとっては
初めてのことで戸惑うと思いますが、皆さ
んの高校生活の思い出が良いものになるように努
力していきます。生徒会役員をはじめ、みんな
良い学校を創っていきましょう。

体育副部長 森 陽由莉

歴代の先輩方の思いを引き継ぎながら、今まで
にない、全員が楽しく活躍できるように体育大会
や球技大会にしてみせます！自分なりに全力で
頑張るので、協力お願いします。

保健部長 山口 あいり

私が生徒会で一番に頑張りたいことは、生徒会
主催の行事です。コロナ禍の制限も少しずつ緩和
していく中、これまでできなかった分まで、全校
生徒が精一杯楽しめるよう、生徒会一丸となって
頑張っていきたいと思ひます。

保健副部長 丸本 樹

私は、生徒会活動に参加できたことを生かして
学校が良くなるよう、自分なりに行動していき
たいです。生徒会長などのように表立った役割では
ありませんが、副委員長として学校のために役に
たてるよう頑張ります。

管理部長 飯田 瑠音乃

この度は憧れの生徒会に参加することができて
とても嬉しく思います。文化祭では、任された仕
事に全力で取り組むことができました。「皆で楽
しむことができる行事にするぞ!」という思いで
生徒会一同、一年間頑張ります。

管理副部長 西元 美希

初めての生徒会活動で不安でいっぱいですが、
会長や副会長を中心に、先輩方が築き上げてきた
伝統を守りながら、より良い学校になっていくよ
うに精一杯頑張ります。

HR部長 堀江 春花

生徒会に入ろうと思ったきっかけがもつと人の
役に立ちたいと思ったからなので、中学校の生徒
会活動の経験を生かし、積極的に行動できるよう
にしたいです。部活動や勉強と忙しいですが、自
分なりに精一杯頑張ります。

風紀部長 松本 彩沙

私は、生徒会役員として学校での活動に役に立
ちたいと思っていたので、生徒会役員として活動
させて頂くことを光栄に思っています。与えられ
た役割で、精一杯頑張っていきたいと思ひます。

漲る力 活躍を信じて

男子バスケットボール部 西播大会Aリーグ昇格 優秀選手 盛永 隼仁

私達男子バスケットボール部は、このたびの西播高校バスケットボール夏季大会でAリーグに昇格することができました。
今大会は、先輩方の引退後初めての西播大会でした。「今度は自分達が引つ張る番だ」「昨年よりベンチ広いな」など、緊張や戸惑いを感じつつコートに立ちました。

一戦目、二戦目と順当に勝ち続けて迎えた三戦目。日々の勉強の疲れのせいなのか、私は思うようなプレーができませんでした。そんなときに支え、励まし、勝利まで導いてくれたのが仲間達でした。

続くAリーグ昇格がかかった試合では、苦戦の末勝利し、初めての大会を全勝という素晴らしい形で締めくくることができました。次の大会も、今回を超えるさらに最高と思える結果になるよう、精進していきます。

私達は、「愛される・応援される」部であることを目的として、練習に取り組んでいます。試合結果が良いだけでなく、人間性でもまずは「西播一」になれるように努力していくので、何か困った事があれば近くのバスケットボール部員と目を合わせてみてください。

最後に、私達を支えてくださった方々、応援してくださった方々、改めてありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。

他にも、夏休みに開催された大会で、顕著な結果を紹介します。自分達の可能性をしっかりと表現して、充実した日々を過ごしてください。

女子バスケットボール部 西播大会Aリーグ二位

陸上競技部

兵庫県ユース陸上競技対校選手権大会

女子二年一〇〇メートルハードル

第一位 日坂 美咲

近畿ユース大会出場

野球部

秋季西播大会代表決定戦勝利

秋季県大会出場

暑い中、よく頑張ってくれました。次のステージで、更なる飛躍を期待しています。



九月の予定

- 一日(金) 始業式
- 四日(月) 課題調査&授業
- 五日(火) 課題調査&授業
- 十二日(火) 教育相談
- 十四日(木) 体育大会前健康相談
- 十八日(月) 敬老の日(祝日)
- 二十一日(木) 体育大会準備
- 二十二日(金) 体育大会
- 二十三日(土) 秋分の日(祝日)
- 二十六日(火) 教育相談

十月の予定

- 二日(月) 生徒会各種委員会
- 六日(金) 創立記念日(休日)
- 九日(月) スポーツの日(祝日)
- 十日(火) 教育相談
- 十六日(月) 中間考査
- 二十日(金) 中間考査
- 二十日(金) 教育実習
- 二十六日(木) 大津小学校町探検
- (雨天延期は翌二七日(金))

修学旅行について

二学期は、一月に実施される修学旅行について、時間を割くことが多くなります。例えば、ホテルの部屋割り、スキー実習のレベル確認、最終日の研修先の確定、班別行動のタイムスケジュール(企画)表を作成することなど・・・。

修学旅行は、大変大きな集団で動きます。勿論、自分達の意思で自分達の行きたい場所への旅行とは限らないことも理解してもらえと思っています。一番大切にしなければならぬことは、安全であり安心です。いくつかの場面では、自分達の思うにらぬこと(時間的制約、規律的制約など)もあるとは思いますが、学校活動の中で楽しむ工夫も、今回が人生の中で最後になりますね。

場所は変わりましたが、いつもの私生活と同じではなく、いつもとは少し違ったメンバーや異なった場所、いつもより少し視野を広げた行動を伴った旅行にする、旅行になることを期待しています。



今月の ○○○○の 勧め

一月	「無駄」
五月	「諦めない」
六月	「捨てる」
七月	「チャレンジ」
一学期末	「さかのぼる」
九月	「テレビ」
十月	「大空間」
十一月	「無」
十二月	「こだわり」
二学期末	「信念」
一月	「探る」
二月	「自制する」
三月	「勇気を探す」
一年最終	
二年	
四月	「悩むこと」
四月 2	「本気でぶつかること」
五月	「この世界の片隅を大切に」
六月	「主体性」
七月	「客観性」
一学期末	「ルーティーン」
九月	「スマホとの向き合い方」

さらばスマホ「10日間限定」

八月一日(金)〜八月二十五日(金)の神戸新聞わがまち「姫路」のページで紹介されていた特集です。

「なあ、スマホがなかったらどうする？」会社でもずっとスマートフォンに触っている私たちを見て、デスクがあきれたように言った。そして突然、私たちの「スマホなし生活」が始まった。

この書き出しで始まった特集は、今回のデジタルデトックス(デジタルと距離を置くこと)の時間の中で、入社一、二年目の二人の記者が七回にわたり、時には禁断症状を感じながら、時には新鮮な新たな発見をして、「学んだこと」ということで、大きなペースで掲載されていました。

本当は、すべてを読んでもらいたいですが、掴みだけ紹介します。良かったら、一度記事に本気で触れてもらえたらと思います。

一人目

1. (テーマ)無人島へ行く

(学んだこと)
 テレホンカードを売っていないコンビニがある
 公衆電話は通話音量が小さい
 スマホを手放すと不安になる

2. (テーマ)無人島に上陸

(学んだこと)
 カメノテはカニのような味で意外とおいしい
 たき火を見ると落ち着く
 スマホがなくても波の音でぐっすり寝付ける

3. (テーマ)なぜここに?

(学んだこと)
 スマホがないと、眠りの質が上がる…気がする
 スマホのアラームより、目覚まし時計の方が起
 きられる
 一週間もすれば、スマホへの執着がなくなる

二人目

1. (テーマ)手持ちぶさた

(学んだこと)
 スマホを封印すると、10日間で七冊も本が読めた
 量販店では、目立たない場所に目覚まし時計が並んでいる
 レコードにはA面とB面がある

2. (テーマ)手紙

(学んだこと)
 切手は封筒を縦長にした時、左上に貼るのがマナー
 手紙をもらうと嬉しい
 父親は家を出た息子のことを心配している

二人で記事を

1. (テーマ)公衆電話

(学んだこと)
 昔は、お土産にテレホンカードをもらっていた
 公衆電話を置いてある台で、手荷物を整理する
 ひとがいる
 スマホの画面に目を落とさず、街ゆく人を眺めるのは意外と楽しい

2. (テーマ)封印解除

(学んだこと)
 スマホがないと、きれいな景色をすぐに撮れない 悲しい
 スマホがないと、社会から切り離れた気持ちになる
 やっぱりスマホは手放せない

一度、各々が振り返る時間、機会をもって下さい。
 私に意見があるように、皆さんの意見もあります。
 「何が」正しいかも大切。「どんなふうに」生かし合うかも大切です。

そのためには、自分の目の前に起こっていることがどこにあるのかを考えていきたいものです。
 SNS等の内容だけでなく、SNSの文化の中で大きく影響を受けた生活風景を目にすることが多い夏休みであったようにも思いました。道具に振り回されることなく、「便利な」道具を適切に「利用」することができる力を身につけていきたいものです。

〜二学期の始まりに寄せて〜